



人間が生き物を

絶滅させている!?

地球上には3,000万種もの生き物がいると言われています。しかし、世界ではもちろん、日本でもたくさんの生き物が絶滅の危機にさらされています。

生き物のピンチにできることを始めよう

たくさんの生き物を絶滅のピンチにした原因の多くは、わたしたち人間です。しかし、人間は生き物を守ることもできます。身近なことからできることを探して取り組んでみましょう。

日本では、3,597種がピンチ!

今、日本では3,597種類もの生き物が絶滅の危機にあるとされています。

今からできることを考えよう!



トキ (野生絶滅※1)

約30年前に日本の野生のトキは絶滅してしまいました。現在は、人工繁殖させたトキを再び野生に戻す取り組みが続けられています。

※1 野生下では絶滅してしまった生き物

ニホンウナギ (絶滅危惧種※2)

日本でよく食べられるニホンウナギという種類のウナギは、国内でとれる量が減り、生息数も少なくなってきているため、日本では2013年に絶滅危惧種に指定されました。

※2 絶滅の危機にある生き物

原因のほとんどは、人間の暮らし

生き物たちが絶滅の危機にさらされてしまっている原因のほとんどは、わたしたち人間の暮らしです。

開発

道路や工場、住宅などをつくるために、生き物のすみかがこわされています。

管理不足

雑木林などの管理が不足しているため、そこをすみかとする生き物が減っています。

獣害

狩りをする人が減ったため、ニホンジカなどが増えすぎて、木や草を食べつくして自然をこわし、他の生き物のすみかをうばっています。

化学物質

農薬などの化学物質が、生き物に悪い影響を与えています。

外来種※

外来種が、その地域にもともといた生き物(在来種)を食べたり、すみかをうばったりしています。

地球環境の変化

人間の生活が原因の地球温暖化などによって、今までの生活ができなくなり、絶滅の危機にさらされている生き物がいます。

※もともとはいなかった国や地域に、人間によって持ちこまれた生き物

たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わおう

ふれよう

近くの山や川などに出かけて、自然にふれてみよう

つたえよう

自然について学んだことを、家族や友達に伝えてみよう

まもろう

地域の自然保護活動に参加してみよう

えらぼう

減農薬など、生き物にやさしい方法で作られた食べ物を選ぼう

自然と生き物はつながっている



クジラのような大きな生き物から、目には見えないくらい小さな生き物まで、地球上にはたくさんの種類の生き物が生きています。このたくさんの生き物たちは、自然の中でつながり、目には見えなくても互いにバランスを取りながら生きています。

これを「生物多様性」といい、生き物の絶滅はこの生物多様性をこわしてしまいます。



自然の一員として、わたしたち人間に何ができるか、考えてみましょう。